

# 県小学生プログラミング大会

## 第1席に藍住で学ぶ団体

### 「Teamサニーガーデン」

プログラミングのコンクール「徳島県小学生プログラミング大会」（徳島新聞社主催）の作品発表会と表彰式が2日、北島町高房の徳島新聞印刷センターであり、入賞した8組が表彰された。グランプリには、藍住町のプログラミング教室に通う児童のグループ「Teamサニーガーデン」が選ばれた。

シューティングゲームや防災クイズ、電子工作など

19作品の応募があり、徳島大、鳴門教育大、徳島文理大、四国大の各教員ら9人が審査。発表会では、1次審査を通過した8組がそれぞれ作品の動画を見せながら、創作のきっかけや工夫した点を説明した。

Teamサニーガーデンの作品は児童17人が手掛けた。文化や人種などが全く異なる二つの街や、それをつなぐトンネルを制作し、誰もが平等な社会を表現している。リーダーの辻龍之介君(12)＝藍住東小6年＝

は「協力して作ったことで自分たちにも一体感が生まれた」と話した。コンクールはプログラミング教育の普及と推進を自らの開かれ、4回目。Teamサニーガーデンは来年



グランプリに選ばれたTeamサニーガーデンの児童＝北島町の徳島新聞印刷センター

【準グランプリ】登佐古悠真(板野東小6年) 【奨励賞】尾方愛守花(西井川小6年) 芳岡勇俊(助任小5年) 大東晃也(川内南小6年) 長濱旭(鳴門教育大附属小3年) 横野匠真(応神小2年) 竹本佳生(川内南小6年)

3月に都内で開かれる「全国選抜小学生プログラミング大会」(全国新聞社事業協議会主催)に県代表として出場する。(矢田諭史) 他の入賞者は次の皆さん。